

報知新聞社杯争奪戦

10/17(火) 18(水) 19(木)

F1

ナイター
開催

川崎スポーツ



レース展望

10月17日から開催される川崎競輪はF1ナイター。改修後から2戦目となる今シリーズはある程度初戦(7日~F1)の傾向を見てバンクの特徴を参考にしたいところ。

S級は突出した存在が無く混戦模様。南関勢はパワフルな徹底先行型の野口裕史(千葉111期)と地元の大ベテラン白戸淳太郎(神奈川74期)の奮起に期待したい。選手層の厚さなら関東勢か。キメ脚鋭い中田健太(埼玉99期)や、木暮安由(群馬92期)が中心

で、笠松将太(埼玉100期)と太田龍希(埼玉117期)の両機動型がどこまで頑張れるかで流れが変わるだろう。東北ラインは高橋晋也(福島115期)―阿部力也(宮城100期)が好セットで上手い連係から優勝争いに加わってくるはず。遠征勢は橋本優己(岐阜117期)や中井太祐(奈良97期)の両機動型のデキがシリーズの鍵を握る。

A級戦は地元勢が強力だ。地元戦に強い加藤健一(神奈川10

7期)の先行力が中心。斎藤雄行(神奈川121期)が勝ち上がってくれば更に戦力はさらに増すし、師匠の松坂英司(神奈川82期)と共に上位独占を狙う。関東勢では小池千啓(栃木119期)も先行力が高く当地は好走のイメージがあり、地元勢を苦しめそうだ。遠征ラインはやや機動型が手薄だが、強力なまくりを持つ大西祐(愛媛91期)や、キメ脚シャープなベテラン富弥昭(山口76期)らも優勝候補の一角となる。

脚力傑出者が不在で波乱十分!!

S級
主力選手



木暮安由 群馬 92期

今期は2班となった木暮安由だが、今シリーズは優勝候補の一人。不安定な時期が続いたがようやく復調気配がある。当地好走する太田龍希や底力ある笠松将太の機動力が頼みとなるが、目標無ければ自ら自在に攻める場面もありそうで予選から中心で狙いたい選手。

S級
主力選手



橋本優己 岐阜 117期

昨年はヤンググランプリに出場するなど、今後の飛躍が期待されている橋本優己だが今年はやや不安定な状態。スピード地脚を生かした自力勝負が持ち味だが、やや伸び悩んでいる印象。改修前の当地では結果を残していただけに、中近ラインの先導役として期待。

S級
主力選手



野口裕史 千葉 111期

豪快な先行勝負が魅力の野口裕史だが、近況は大敗も目立ちやや苦しんでいる様子。しかし競走得点は下げているが、持ち味発揮できればV争いに加われる実力がある。機動力が手薄な南関にとってはこの人の活躍が頼みの綱。強力な地脚を発揮して優勝者を導く。

A級
注目選手

加藤健一
神奈川 107期

強力な地脚を持つ地元の先行タイプ。S級でも掛かり切れれば結果を出す先行力には魅力十分。特に地元戦では3割増しの評価ができる。今期は既に小田原でVを達成しているし平塚も好走。しかし最も成績が良いのはホームの川崎。若手機動型との関係もあれば更に期待度が増す。

A級
注目選手

斎藤雄行
神奈川 121期

積極的な自力勝負でメキメキと力を付けている地元の斎藤雄行。ここまでくればS級の点数確保も見てくるが、「それを意識しすぎてレースが小さくならないようにしたい」と、あくまで先を見据えた走りを意識しているようだ。南関勢にとっては貴重な若手先行型と言える。

対馬太陽神奈川選手会支部長に聞く川崎新バンクガイド



対馬太陽選手
(神奈川85期)

バンクやスタンドの改修が行われた川崎バンクは、かなり特徴に変化が見られそう。ホームバンクの南関東地区本部長でもある対馬太陽選手(神奈川85期)に聞くと「バンクがきれいになり、走路のガタツキが取れて、クセも無くなり走りやすくなった。あとはホームの向かい風が少し強く感じるようになった気がします」と話す。同じ南関東地区なら、平塚や静岡競輪場に近付いたイメージで最初は予想してみたい。

競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル